



## 文化やアートに止まらない 旧県美が志すクリエイティビティとは？

旧県立美術館の運営管理計画策定を目的としたワークショップ「せばなるあきた」の第3回目が10月27日〔土〕、秋田市役所2階の山王一丁目食堂で開かれました。2013年の閉館から5年、旧県美は芸術文化によるまちおこしの拠点「(仮称)秋田市文化創造交流館」として再生に向けて動き出しています。参加者それぞれの思いを受け止めながら、ワークショップはいよいよ後半戦に入りました。NPO 法人アーツセンターあきたによる運営管理計画素案の発表から始まった第3回「せばなるあきた」をレポートします。

旧県美再生！ワークショップ  
「せばなるあきた」の様子をお届け！

# せばなる 通信

NO.3



# 10/27 せばなるレポート

旧県美の「これまで」と「これから」を共有し、施設としてのあり方や態度を探ってきたワークショップ「せばなるあきた」。今回はついに、ワークショップを運営するアーツセンターあきたによる運営管理計画素案の発表です。参加者の皆さんはどんな反応を示すのか…ドキドキのスタートとなりました！

ファシリテーターは  
このお二人！

篠原 幸子  
(NPO 法人場とつながりラボ home's vi)

平元 美紗緒  
(まちづくりファシリテーター)

「せばなるあきた」ではこれまで、旧県美への思いやアイデアを受け止めつつ、どんな価値基準のもとで運営していくかについて言葉を軸に探ってきました。第2回目に「旧県美の人格(=施設のあり方)」を問いかけて浮き彫りになった旧県美の新たな姿を紐解き、編み直し、大きな枠組みとして描いたステイトメントがこちらです。

旧県美は、創造力の〈枠をひろげたい〉〈養いたい〉〈発揮したい〉  
すべての人に開かれたクリエイティビティ発酵場です。  
発酵を促すために新しい視点、価値を見出すような実験的事業に取り組み、  
活動の化学反応を生み出します。そして共に創造力を深めていきます。

旧県立美術館は、秋田県民・市民が愛着をもち、さまざまな思い出をもつ場所です。  
人々の中に物語や記憶として生きる旧県美がもつ「場所の力」。  
2020年、旧県美の再生とともに、この場所の力を活かす仕組みをつくりまします。

秋田は、クリエイティビティ(※)に溢れています。  
「秋田は、なんもね」とつぶやく人が多いのは、謙遜のためなのか、  
それとも日常にあるものたちの価値が可視化されていないためなのかもしれません。  
日常に息づくクリエイティビティを芽吹かせ、街に伸びやかにその枝葉を広げ、  
豊かなまちづくりを支えるために、旧県美は生まれかわります。

その実現のために、旧県美は、多様なクリエイティビティのあり方に寄り添う  
すべての人に開かれた場でありまします。新しい知識や情報を吸収したい人、  
またそれらを吸収するための「余白」を求める人、自分のアイデアを実現したいと思う人。  
誰もが集い、出会い、学んだり、語り合ったり、寛いだり。  
思い思いに充足した時間を過ごすことのできる場と機会を提供します。

そして、旧県美に集う一人ひとりのクリエイティビティが芽吹くよう、新しい視点や  
価値を見出すような、先駆的で実験的な事業に取り組んでいきます。まちに開き、  
他の文化施設とも連携して、クリエイティビティが芽を伸ばし、時に閉じ熟成していく  
時間も持ちながら「人と文化をはぐくむ誇れるまち」の実現に貢献します。

※クリエイティビティ(Creativity)とは、創造性また創造する力を意味します。

## 「せばなるあきた」ワークショップの目的

- 旧県美を活用することで実現したい、「ありたい」まちの未来を考える。
- それを実現するために…  
旧県美の「こんな場所になればいい」「こんなのがあればいい」を考える。
- ここにいる皆さんの関係性を深める。
- 旧県美とその周辺がにぎわうワクワクを考える。



### 第3回目のゴール

- 運営管理計画案のイメージが共有できている。
- 「旧県美でやりたいこと」でチームになり、実現に向けて動き出している。
- ここにいる皆さんの関係性がさらに深まっている。
- 4回目も来よう！と思っている。

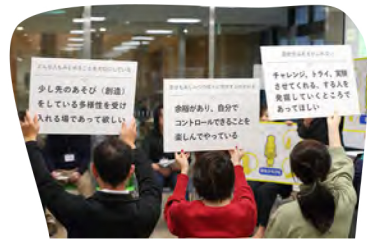
### クリエイティビティとは？

参加者からの質問によって深められたのが、「クリエイティビティとは何か？」ということでした。「創造性」「創造力」であり、新しいものを生み出していく力のこと。アートやデザインなどの狭い意味ではなく、「さまざまな分野をクリエイティブしていく力であることの定義が重要」との意見もありました。実験的なこと、やってみようという一歩踏み出せるまちであることがそのベースにあります。

ステイトメントをもとに活動方針として発表したのが「創造力の枠をひろげる環境をつくる」「創造力を養う場をつくる」「創造力を発揮することを後押しする」「化学反応を生み出すための刺激を与える」「発酵の過程と成果を発信し、貯蔵(アーカイブ)する」。この5つの方針と事業展開イメージに対して、体制や財政面の他、自主企画や市民企画について、アーカイブの活用の仕方、近隣施設とのつながりなどさまざまな課題が出されました。これらをもとに今後、運営管理計画を練り上げていきます。

### 旧県美を舞台にした夢の企画を考える

旧県美は文化やアートに止まらない、新しいものを生み出していく場であることを共有した後、ついに参加者による「夢の企画」が動き出しました。主体性と情熱でそれぞれがテーマを出し合い、参加者はくっ付いたり、離れたり。「蝶や蜂の役割も大切」というファシリテーターの言葉に、あちらこちらのチームを見たり聞いたり、掛け合わせたりして出されたのが、舞台パフォーマンス、伝統芸能、音楽イベント、旧県美にまつわるツアー、同時多発的俯瞰劇場、空間としての拠点のあり方…。これらは第4回目のワークショップで、メンターのアドバイスを受けながらブラッシュアップされていくはず。どんな企画が紡ぎ出されるのか、最終回をお楽しみに！



第3回目のワークショップは、秋田工業高等専門学校(秋高)の学生たちが作ってくれた模型を眺めながら進みました。





せばなるあきたオススメ勉強会！

## Discover Kamenochō 「+クリエイティブ」な日常を考える

「+クリエイティブ」を軸にユニークな事業を展開するデザイン・クリエイティブセンター神戸【KIITO】の副センター長・永田宏和さんを迎え、Discover Kamenochō が開催されます。デザインやアートを加えることで活動の魅力を高めるだけでなく、知恵や工夫を取り入れて課題の解決やさらなる活性化をはかる「+クリエイティブ」。その実践によって人やまちの日常が豊かになるためのヒントを学びます。

日 時：12/18 [火] 19:00～20:45 (開場18:30)  
会 場：KAMENOCHO STORE (秋田市南通亀の町4-15)  
参加費：¥1,500 (1ドリンク付き)

★椅子席が30席程度、当日の先着順となります。  
それ以上の方は立ち見となりますので、ご了承ください。

お問い合わせ Discover Kamenochō 事務局 (株式会社 See Visions 内)  
TEL 018-836-3331



Photo by Yoshiaki Tsutsui AXIS

### 永田 宏和

株式会社iop都市文化創造研究所 代表取締役  
NPO法人プラス・アーツ 理事長  
デザイン・クリエイティブセンター神戸  
【KIITO】副センター長

企画・プロデューサー。NPO法人プラス・アーツ理事長。「+クリエイティブ」をコンセプトに防災や教育、まちづくりといった様々な分野の社会課題解決に取り組む。都市キャンペーン型アートイベント「水都大阪2009・水辺の文化座」、楽しく学ぶ防災訓練プログラム「イザ！カエルキャラバン!」、子どもがつくる子どものための夢のまち「ちびっこうべ」など。

今回は…

## 「せばなるあきた」ついに最終回!!

旧県美の運営管理計画策定に向けて続けてきた旧県美再生！ワークショップ「せばなるあきた」。最終回となる第4回目は、第3回目に参加者が提案した「夢の企画」をもとに、メンター陣からアドバイスを受けて企画をブラッシュアップ。そして、発表していただきます！

### 第4回 11/18 [日] 夢の企画ブラッシュアップと発表

場所：山王一丁目食堂 (秋田市山王1-1-1 秋田市役所2F)

時間：10:00～15:00 (休憩約1時間。昼食は各自でご準備ください。)

申込：参加をご希望の方は、下記の情報をNPO法人アーツセンターあきたまでご連絡ください。

①お名前 ②年齢 ③電話番号 ※申込受付は先着順とさせていただきます

NPO法人アーツセンターあきた 〒010-1632 秋田市新屋大川町12-3 アトリエももさだ内  
TEL: 018-888-8137 FAX: 018-888-8147 mail: info@artscenter-akita.jp (電話受付 平日 9:00～17:00)



振り返りや懇親会にも  
ぜひ参加ください！



託児希望の方は  
ご相談ください！



むかし懐かしの  
写真もあります



お菓子と飲み物も  
ご用意しております